

令和 8 年度入学生にかかる修学旅行に関する業務仕様書

＜提案書の書式について＞

- ・修学旅行企画提案書の書式は、A 4 サイズを基本とし、各社の工夫は可能とする。
- ・納入価格は、生徒一人あたりの経費とし、消費税 10 %を含んだ金額で提案すること。また、別紙にて代金内訳表を添付し、交通費、宿泊費、食事・弁当代、諸経費)の項目当たりの金額を提示すること。また、おおよそ 61,000 円程度の費用で提案すること。
- ・体験費用については、体験別に一覧にして提示すること。
- ・旅行行程表は、各案それぞれ 1 枚にまとめて提案すること。
- ・提出プランは以下に示す本校からの要望を満たすものであること。ただし、本校の要望を満たさない(方面、日程、期日を除く)のものであっても旅行業者が勧めるプラン(以下、「追加のプラン」と呼ぶ)を 1 プランに限り提示しても構わない。場合によっては「追加のプラン」を採用する場合がある。
- ・その他、説明に必要な書類は添付すること。

＜本校から修学旅行に関する要望・確認事項＞

1 修学旅行の目的

(1) 総合的な学習

- ・政治や経済の中心地で、さまざまな首都機能に触れ、学ぶことを通じて、自分たちが将来の日本を担っていくという意識を育てる。
- ・総合的な学習の時間で「まちづくり」をキーワードに学習を積む予定である。修学旅行においては都市機能、再開発や都市政策について学ばせたい。これからの時代を見据え、拡大・成長のみならず、戦略的撤退や被害を最小限に抑える縮小という観点も含めて考察させたい。
- ・大自然に触れたり(自然体験)、伝統産業を体験したり、本物の体験を通して歴史や成り立ちを学び、総合的な学習の実践の場とする。

(2) 集団宿泊体験

集団活動を通して、自律心の育成、集団の規律・秩序を守る態度の育成、教師と生徒および生徒相互のふれあいや信頼関係の構築を図る場とする。

(3) 問題解決的な学習

学級別、個別学習等を計画立案、実践するなかで、自ら学ぶ意欲を高め主体的な学習方法を身につけ、学校における学習活動の充実・発展に繋げる機会とする。

2 具体的な内容

(1) 方面 「東京方面+富士山周辺で自然体験のできる方面」

- ・東京方面での都市の高度化と再開発にかかる諸問題(撤退・縮小、多様な主体による都市運営、減災、環境への配慮、歴史との共存など)を学ばせる内容で提案すること。なお、行程や活動内容にゆとりがあり、安全が保証できる場所での提案であること。

(2) 日程 2泊3日とする。

(3) 期日 令和10年5月中旬～6月中旬

(4) 予定参加人数 生徒 82名(男子36名 女子42名)
クラス数 3クラス 引率教員約10名

(5) 移動手段 JR バス 船舶等

- ・提案するプランはいずれも、往路か復路のどちらかは新幹線・在来線を使用すること。
- ・また、往路に新幹線・在来線を利用した場合は、事前に生徒の荷物を現地へ送る料金を金額に含めること。

3 詳細規定事項

(1) 安全対策について

- ・修学旅行の全行程について安全対策を施すこと。
- ・安全対策の具体的な方法を明記すること。
- ・緊急時の体制を提案すること。
- ・大きな総合病院が近くにあること。
- ・行程中に保護者の迎えが必要となる場合があるため、公共機関などを利用しての保護者合流が容易にできること。または、保護者の迎えに協力できるよう十分配慮した行程とすること。

(2) JRについて

- ・生徒、教員が同じ便に乗車できること。
- ・乗車車両が連続していること。

(3) バス・船舶について

- ・バス(3台)は中学生の修学旅行としてふさわしい車種であること。
- ・バスの会社名を明らかにすること。
- ・船舶については、波浪時の対応についても提示すること。

(4) 宿泊施設について

- ・1泊目がホテル泊の場合、2泊目をクラス別分宿に、1泊目がクラス別分宿の場合、2泊目をホテル泊とすること。
- ・分宿場所は、地元の方々との積極的な関わりができることであること。
- ・ホテルは、ビジネスホテル以外で手配すること。
- ・ホテルは、1校のみの宿泊とする。ただしやむを得ない理由で他校と同宿になる場合は、速やかな連絡とともにトラブルを避ける手立てを取ること。
- ・生徒の男女の宿泊フロアは別の階にすること。立地や周辺環境については中学生の旅行にふさわしいものであること。

(5) 体験活動について

- ・中学3年生が体験して十分満足できる体験を提示すること。
- ・体験内容は以下の内容を提示すること。

地域の文化を感じる学習体験

自然体験

スポーツ体験

その地域でしかできない体験

- ・天候不良時の代替案があること。

(6) 食事について

- ・地産食材を使った食事や、地域の伝統料理を盛り込んだ食事を提供すること。
- ・分宿の場合も、宿泊先によって大きく差異が生じないようにすること。
- ・アレルギー対応ができる代替食が提供できること。

(7) 研修について

- ・公共交通機関を使う班別自主研修を取り入れること。
- ・施設見学を提案する場合は、東京方面での都市の高度化と再開発にかかる諸問題に関わる政治、経済、キャリア形成、伝統・文化、産業、環境、平和、震災等について研修できる施設を盛り込むこと。
- ・クラス別の研修または体験等を取り入れること。

(8) その他

- ・添乗員の人数および役割を明記すること。また女性添乗員が必ず随行すること。なお、本校担当者は必ず添乗すること。
- ・参加費用の徴収方法を明示すること。
- ・雨天、悪天候の状況時の活動、学習の提案を提示すること。
- ・下見の際の添乗員の旅費は生徒の旅行代金に含めること。

(9) 注意事項

- ・生徒にとって、一生の思い出となる修学旅行の企画・演出を提供すること。
- ・生徒の健康管理に配慮した、無理のないコース設定をすること。
- ・修学旅行の目的に沿った単なる見学でない体験重視の企画を提案すること。